教科教育創造コース

国語教育領域

【領域の目標】
国語教育領域では、国語科教育・国語・国文学（漢文学を含む）の分野のいずれかにおいて、自ら専門とする分野における高度な専門的知識・技能等を身につけ、初等・中等教育諸学校や生涯学習社会において21世紀の国語教育をリードできる高度な理論的・実践的能力を持った人材の育成を目標にしています。また、留学生においても本国の言語文化教育に寄与できる高度な理論的・実践的能力を持った人材の育成を目標にしています。

【担当教員・分野・専門分野】

前田　眞證	国語科教育	作文教育史、話しことば教育実践学、国語科授業力の研究
山元　悦子	国語科教育	戦後の国語教育史研究、音声言語教育研究
河野　智文	国語科教育	国語科単元学習の研究
荻野千砂子	国語学	現代日本語の音声・音韻
勝又　　隆	国語学	日本語の歴史（特に、日本語文法の歴史）
沼尻　利通	国文学	平安時代の文学（源氏物語・枕草子の研究）
菊池　庸介	国文学	江戸時代の文学（小説類・実録の研究）
久保田裕子	国文学	昭和期以後の文学（三島由紀夫・女性作家についての研究）
藤井　良雄	漢文学	明末清初の文学、白氏文集研究
鶴成　久章	漢文学	儒教思想の研究（朱子学・陽明学を中心に）
竹元　規人	漢文学	中国近代の古典学

社会科教育領域

【領域の目標】
社会科教育領域では、自ら専門とする分野における高度な専門的知識・技能等を身につけ、初等・中等教育諸学校や生涯教育社会において21世紀の社会科教育をリードできる高度な理論的実践的能力を持った「研究的実践者・実践的研究者」に育てることを目標にしています。

【担当教員・分野・専門分野】

小田　泰司	社会科教育	社会科教育学、米国社会科教育史
豊嶌　啓司	社会科教育	社会科学習指導に関する理論的・実践的研究
小川亜弥子	歴史学	日本近世史、幕末・維新史
杉村　伸二	歴史学	中国古代史
石丸　哲史	地理学	人文地理学
黒木　貴一	地理学	自然地理学
保条　成宏	法律学	刑事法、医事法、社会福祉法制
久本　貴志	経済学	社会保障論
喜多加実代	社会学	社会学理論、ジェンダー論
堀　　豊	哲学・倫理学	中国哲学
小林　知子	国際関係論	国際関係学・近現代東アジア研究
黒崎　龍悟	国際協力論	国際協力論・アフリカ地域研究

数学教育領域

【領域の目標】
数学教育領域では、数学科教育、代数学、幾何学、解析学、応用数学の各分野における高度な専門的知識・技能等を身につけ、初等・中等教育諸学校や生涯学習社会において21世紀の数学教育をリードできる高度な理論的実践的能力を持った人材の育成を目標にしています。

【担当教員・分野・専門分野】

飯田　慎司	数学科教育	数学教育における問題解決、算数・数学科の教師教育に関する研究
清水　紀宏	数学科教育	数学教育における問題解決に関する研究
岩田　耕司	数学科教育	数学教育における問題解決、創造性に関する研究
今井　一仁	数学科教育	数学教育における学習環境のデザインに関する研究
品川美津男	代数学	可換環論、代数幾何学
坂本　隆則	代数学	無限次元リー代数、無限群
櫻井　孝俊	幾何学	リー群の表現論、力学系
岩元　　隆	幾何学	リー群の構造論、リー群の格子部分群、代数群、リーマン幾何学
原　　卓哉	解析学	関数解析学
藤本　光史	応用数学	数式処理、計算代数幾何
中田　寿夫	応用数学	確率論

理科教育領域

【領域の目標】
理科教育領域では、理科教育、物理学、化学、生物学、地学の5つの分野の中で、自ら専門とする分野についての高度な知識・技能等を身につけ、初等・中等教育諸学校や生涯教育社会において、21世紀の理科教育をリードできる高度な理論的実践的能力を持った人材の育成を目標にしています。

【担当教員・分野・専門分野】

森藤　義孝	理科教育	理科教育学、自然認識、物理教育
坂本　憲明	理科教育	理科教育学、教授学習論、地学教育
甲斐　初美	理科教育	理科教育学、動機づけ、生物教育
大後　忠志	物理学	プラズマ分光学
宇藤　茂憲	物理学	応用物性、分光学
三谷　　尚	物理学	物性理論、表面物理学
松崎　昌之	物理学	原子核物理学理論
宮崎　義信	化学	物理化学、溶液化学
原田　雅章	化学	分析化学、分光分析化学
伊藤　克治	化学	有機化学、有機合成化学
長澤五十六	化学	無機化学、錯体化学

※担当教員については平成28年４月１日（予定）です。
教員についての詳しい情報は本学ホームページをご覧ください。

【担当教員・分野・専門分野】

小杉健太郎	化学	物理化学
西野　秀昭	生物学	遺伝学、生化学、分子生物学
鈴木　浩文	生物学	発生学、進化生物学
福原　達人	生物学	植物形態学
山﨑　聖司	生物学	植物生理学
唐澤　重考	生物学	動物生態学、土壌動物学
上野　禎一	地学	鉱物学、金属鉱床学、地球環境学
金光　　理	地学	天文学、天文教育
山田　伸之	地学	地球物理学、地震工学、災害科学

音楽教育領域

【領域の目標】

音楽教育領域では、音楽科教育、演奏学（器楽、声楽）、音楽学（音楽学、作曲）の中で、自ら専門とする分野における高度な専門的知識・技術・能力等を身につけ、初等・中等教育諸学校や生涯教育社会において将来の音楽教育をリードできる理論的・実践的能力を持った人材に育てることを目標にしています。

【担当教員・分野・専門分野】

木村　次宏	音楽科教育	音楽科学習指導に関する理論的・実践的研究
山中和佳子	音楽科教育	音楽教育史、音楽科教育の理論的・実践的研究
橋本エリ子	演奏学（声楽）	近代イタリア歌曲・日本歌曲に関する研究及び演奏、イタリア・オペラの演奏法
原　　尚志	演奏学（声楽）	日本歌曲・ドイツ歌曲・オペラ（演技法を含む）に関する研究及び演奏
原田　大志	演奏学（器楽）	ヴァイオリンの演奏法と指導法及び弦楽器を中心とする楽曲の演奏解釈
武内　俊之	演奏学（器楽）	ドイツ及びロシアのピアノ音楽を中心とした演奏法並びに楽曲解釈
長野　俊樹	音楽学	19世紀末から20世紀前半に至るドイツを中心とする音楽の歴史及び理論に関する研究
二宮　　毅	作曲	作曲及び近現代音楽を中心とした楽曲分析

美術教育領域

【領域の目標】

美術教育領域では、美術と書道の二つの分野で成り立っていますが、それぞれ「美術科教育（美術、書道）」、「美術（絵画、彫刻、構成デザイン、工芸、美術史・美術理論、書道史、書道）」の各分野の中で、自ら専門とする領域における高度な専門的知識・技術・能力等を身につけ、初等・中等教育諸学校や生涯教育社会において、21世紀の美術教育や書道教育をリードできる高度な理論的・実践的能力を持った人材に育てることを目標にしています。

【担当教員・分野・専門分野】

草尾　和之	美術科教育（美術）	教材開発（主に中等教育）、美術鑑賞教育、美術教育史
和田　圭壮	美術科教育（書道）	書写・書道科教育の理論研究及び実践研究
服部　一啓	美術科教育（書道）	書道教育の理論研究及び実践研究
加藤　隆之	美術（絵画）	油彩画の制作及び理論、古典技法の研究
松久　公嗣	美術（絵画）	日本画の制作及び理論、古典技法の研究
千本木直行	美術（彫刻）	木彫制作を中心とした彫刻の研究
阿部　　守	美術（構成デザイン）	立体構成・環境造形・インスタレーション
篠原　利朗	美術（構成デザイン）	平面構成、色彩計画
宮田　洋平	美術（工芸）	鋳造技法の研究、古代青銅器鋳造技法の研究
本田代志子	美術（美術史）	西洋美術史、現代美術
小原　俊樹	美術（書道）	中国書跡を中心とした書道研究
坂井　孝次	美術（書道史、書道）	平安・鎌倉時代の仮名文字の研究、日本書道史

保健体育領域

【領域の目標】

保健体育領域では、保健体育科教育、体育学、運動学、健康教育学の中で、自ら専門とする領域における高度な専門的知識・技術・能力等を身につけ、小学校及び中等教育諸学校（中学校、高等学校、中等教育学校）や生涯学習社会において21世紀の体育・スポーツや健康教育をリードできる高度な理論的・実践的能力を持った人材に育てることを目標にしています。

【担当教員・分野・専門分野】

相部　保美	保健体育科教育	保健体育科教育学
兄井　　彰	保健体育科教育	スポーツ心理学、体育心理学、運動学習・制御
榊原　浩晃	体育学	学校体育史・スポーツ史
清水　知恵	運動学	舞踊心理学、身体表現学、健康心理学
鈴木　　淳	運動学	バスケットボール、スポーツコーチング論
本多壮太郎	運動学	武道運動学、武道運動方法学
楢﨑　教子	運動学	柔道・トレーニング論
市丸　直人	健康教育学	生理人類学、運動生理学
片平　誠人	健康教育学	陸上競技、スポーツ医学
樋口　善之	健康教育学	衛生学、学校保健

※担当教員については平成28年４月１日（予定）です。
教員についての詳しい情報は本学ホームページをご覧ください。

教科教育創造コース

技術教育領域

【領域の目標】
21世紀は、グローバルで高度ICT化の時代と言われており、複雑・多様化する技術社会でもあり、身近な日常生活にも高度な技術が応用され、生活を豊かにしております。このような高度技術社会にあって、技術教育領域では様々な専門分野の高度な知識・技能を学習し、幅広い高度な視点から技術的な思考力・豊かな想像力を持ち、実践力を備えた人材を育てることを目標にしています。

【担当教員・分野・専門分野】

永田　萬享	技術・工業科教育	産業技術の発展と技術・職業教育の役割・機能
有川　　誠	技術科教育	技能及び技術的概念の学習過程
大内　　毅	技術科学（木材加工）	木材及び木質材料の高度有効利用技術の開発
古川　　稔	技術科学（金属加工）	金属材料の機械的性質と微細組織、材料と加工に関する教材開発
梅野　貴俊	技術科学（機械）	生体工学及びリハビリテーション工学
平尾　健二	技術科学（栽培）	作物の生理生態及び遺伝、作物栽培に関する教材開発
白石　正人	技術科学（情報）	自然言語処理及びロボットの教材化

家政教育領域

【領域の目標】
家政教育は、生活の質の向上と環境との調和を目指す学問です。家庭科教育の視点から、小学校・中学校・高等学校の家庭科関連の教育を、より充実したものにするために、視野を広げ、専門性を深めることを目指しています。さらに家政学の視点から、健康・環境・福祉・消費等の諸問題について専門的に考究し、それらを総合して課題解決に導くことを目指しています。生活上の諸課題を分析し解決できる実践者と、その教育者の育成を目標にしています。

【担当教員・分野・専門分野】

甲斐　純子	家庭科教育	家庭科教師養成カリキュラムについての研究
貴志　倫子	家庭科教育	家庭科におけるケアリング教育、教育方法に関する研究
秋永　優子	食物学	食の地域性、季節性に関する研究、日常食のあり方とその指導に関する研究
長山　芳子	被服学	衣生活の快適性と被服管理に関する研究
堀　　雅子	被服学	被服とヒトの温熱生理に関する研究
奥谷めぐみ	家庭経営	消費行動、消費者教育に関する研究
鈴木　佐代	住居学	ライフサイクルと住居に関する研究、戸建住宅地の維持・継続に関する研究
阿曽沼　樹	家庭工学	サイン環境に関する研究、人間工学に関する研究

英語教育領域

【領域の目標】
英語と英語教育に関する高度で専門的な知識を身につけ、効果的な指導で英語教育を実践できる意欲あふれる人材の養成を目指しています。英語科教育の分野においては、教科教育としての理論と実践を、文学と文化の分野では、英文学、米文学、英語文化論、異文化理解を基礎に英語科教育の教科内容に関連する領域を、言語とコミュニケーションの分野では、英語学、言語学、応用言語学、コミュニケーション学を基礎にした教科内容に関連する領域を、それぞれ指導しています。

【担当教員・分野・専門分野】

森　　千鶴	英語科教育	英語教育と第二言語習得論
宮迫　靖静	英語科教育	英語教育学
古賀　元章	文学と文化	20世紀のイギリス詩
後藤　美映	文学と文化	イギリス・ロマン主義文学
江頭　理江	文学と文化	19世紀のアメリカ小説
西村　美保	文学と文化	ヴィクトリア朝文化
タッド・J・レオナルド	文学と文化	アメリカの文化と歴史
岡　　俊房	言語とコミュニケーション	理論言語学（統語論）
中島　　亨	言語とコミュニケーション	英語音声学・英語音韻論
吉武　正樹	言語とコミュニケーション	コミュニケーション学

平成27年度入学試験実施状況（教育科学専攻）

コース	募集人員	志願者数	志願者数（外国人）	志願者数計	受験者数	受験者数（外国人）	受験者数計	合格者数	合格者数（外国人）	合格者数計	入学者数	入学者数（外国人）	入学者数計
教育活動創造コース	5名程度	8	4	12	8	4	12	2	3	5	2	2	4
学校心理コース	3名程度	3	0	3	3	0	3	3	0	3	2	0	2
教育臨床心理学コース	6名程度	12	-	12	9	-	9	7	-	7	5	-	5
特別支援教育コース	6名程度	3	1	4	3	1	4	1	1	2	1	1	2
国語教育コース	6名程度	8	2	10	7	2	9	7	2	9	5	2	7
社会科教育コース	6名程度	5	0	5	5	0	5	5	0	5	4	0	4
数学教育コース	7名程度	7	0	7	7	0	7	4	0	4	3	0	3
理科教育コース	7名程度	8	0	8	8	0	8	6	0	6	5	0	5
音楽教育コース	7名程度	15	0	15	15	0	15	11	0	11	11	0	11
美術教育コース	7名程度	5	1	6	5	1	6	5	1	6	4	1	5
保健体育コース	5名程度	7	0	7	7	0	7	7	0	7	6	0	6
技術教育コース	5名程度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
家政教育コース	5名程度	4	0	4	4	0	4	4	0	4	4	0	4
英語教育コース	5名程度	8	0	8	7	0	7	4	0	4	4	0	4
合計	80	93	8	101	88	8	96	66	7	73	56	6	62

第２次、第３次学生募集の入学試験結果を含みます。